

## NEWS RELEASE

2018年7月12日

### 企業会計基準委員会と欧州財務報告諮問グループの代表者による二者間会合の開催

企業会計基準委員会  
欧州財務報告諮問グループ

企業会計基準委員会（ASBJ）及び欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）（以下「両者」という。）の代表者は、2018年7月11日に、ブリュッセル（ベルギー）で会合を開催しました。この会合は、両者が二者間で行っているもので、公式のものとしては今回で第4回目となります。

今回の会合において、両者は各々の活動について最近の状況を確認するとともに、協力の可能性について意見交換を行いました。両者は、それぞれのリサーチ活動に関連するテーマとして、年金、資本性金融商品の代替的な測定方法、仮想通貨、のれんに関する見解について議論しました。さらに、資本の特徴を有する金融商品、基本財務諸表及び開示原則を含む、国際会計基準審議会（IASB）のリサーチ・プロジェクトについても意見交換を行いました。

両者は、引き続き、意見交換を続けていくことに同意しました。次回の会合は、2019年に東京で開催する予定です。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回の会議における議論を通じて、互いに関心がある論点及びそれらの論点に対する見解について理解を深めることができたことは、非常に有意義なことであった。EFRAGとの建設的な議論は、高品質でグローバルな財務報告に貢献するものと確信しており、今後のさらなる協働の機会にも期待している。」

アンドリュー・ウォッチマンEFRAG TEG議長兼CEOは次のように述べています。

「我々は、EFRAGとASBJとの持続的で強固な関係を非常に価値のあるものと考えている。欧州の域を超えた会計基準設定主体との対話は、グローバルな財務報告の調和化の重要な要因である。今回の二者間での議論を通じ、両組織が多く数の主要な論点について類似の見解を有していることが明らかとなり、将来の実りある協働の基礎が築かれた。」

## 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照いただきたい。

## 欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）について

EFRAG は、主に以下の目的のために設立された。

- IFRS の開発を支援する議論において欧州の関係者の十分な参加を確保するとともに、IASB の基準設定プロセスを通じて欧州の見解を示すこと。
- プロアクティブな会計関連の活動を促進、調整及び実行することにより、発生する財務報告上の論点の分析及び議論に欧州の関係者を関与させること。
- 欧州におけるすべての上場企業の連結財務諸表における使用に関するエンドースメントを行うため、IFRS の受入可能性について欧州委員会に対する助言を行うこと。

EFRAG に関する詳細な情報は、ホームページ (<https://www.efrag.org/>) をご参照いただきたい。